

2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3月 29日
研究・研修課題名	一般社団法人日本造血細胞移植学会主催 2020年度同種造血細胞移植後フォローアップのための看護師研修会
研究・研修組織名(所属)	看護部/C病棟8階
研究・研修責任者名(所属)	大國 美紀(看護部/C病棟8階)
研究・研修実施者名(所属)	高橋 実来(看護部/C病棟8階) 福田 桃菜(看護部/C病棟8階)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	高橋 実来 福田 桃菜(看護部/C病棟8階)
学会名(会期・場所)、認定名等	一般社団法人 日本造血細胞移植学会
演題名・認証交付元等	なし
取得日・認定期間等	2020年11月
診療報酬加算の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 加算有(造血幹細胞移植後患者指導管理料) <input type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

造血幹細胞移植患者は、移植後長期にわたって免疫抑制状態が持続し、感染のハイリスク状態である。また、移植片対宿主病(GVHD)、臓器障害、不妊症、二次がんなどの様々な合併症により、日常生活や就学・就業復帰が困難になることもしばしばである。

現在、造血幹細胞移植患者に対して、セルフケア能力の向上・維持、副作用の早期発見や治療、医療・福祉サービスの利用支援、精神的サポートを目的として、専門医・認定看護師・専門薬剤師などによる移植後患者長期フォローアップ(LTFU)外来が実施されており、骨髄バンクや臍帯血バンクを利用した同種移植を実施する施設はLTFU外来の開設が必須となっている。

当院もLTFU外来を2017年度より開設しているが、専任看護師は先端がん治療センター病棟(C病棟8階)に勤務する看護師が従事している。LTFU外来に従事するためには同種移植患者の看護経験があることと、日本造血細胞移植学会が主催する看護師研修会に参加し、修了書を受領することが必須となっている。

今後も引き続きLTFU外来を維持できるよう、2020年度に開催される研修への参加費用を要請する。

②方法

同種移植患者に対する十分な看護師経験のある当病棟の看護師2名が2020年8月7日から10月7日までの期間オンライン上で行われるE-learning講義を受講、同年11月21日または11月22日にオンライン演習に参加し、LTFU外来を実施するための知識・資格を取得する。

③成果

LTFU外来を実施するうえで必要な知識や技術を以下のように学んだ。

- ・退院後の生活指導
- ・造血細胞移植後感染症の診断とマネジメント
- ・造血細胞移植後非感染性晩期合併症のスクリーニングと予防
- ・移植後経過における倫理的課題

- ・同種造血細胞移植の現状と最近のトピックス
- ・同種造血細胞移植におけるチーム医療
- ・GVHD の診断とマネジメント
- ・GVHD のアセスメントと看護ケア
- ・小児特有の課題
- ・ライフサイクルと発達課題
- ・セルフケアへの支援
- ・移植後外来フォローアップの実際
- ・症例検討、ロールプレイ

本研修参加により移植後合併症の基礎知識、移植後のフォローアップにおいて必要な知識と技術を習得し、LTFU 外来担当看護師として医師とともに外来フォローアップにかかわっている。

LTFU 外来を実施すると、「造血幹細胞後患者管理料」300 点が加算可能である。2020 年 4 月から 2021 年 2 月までの LTFU 外来への介入は全 102 件であり、22500 点算定できた。